

吉野川流域は、ほとんどが山林で占められています。

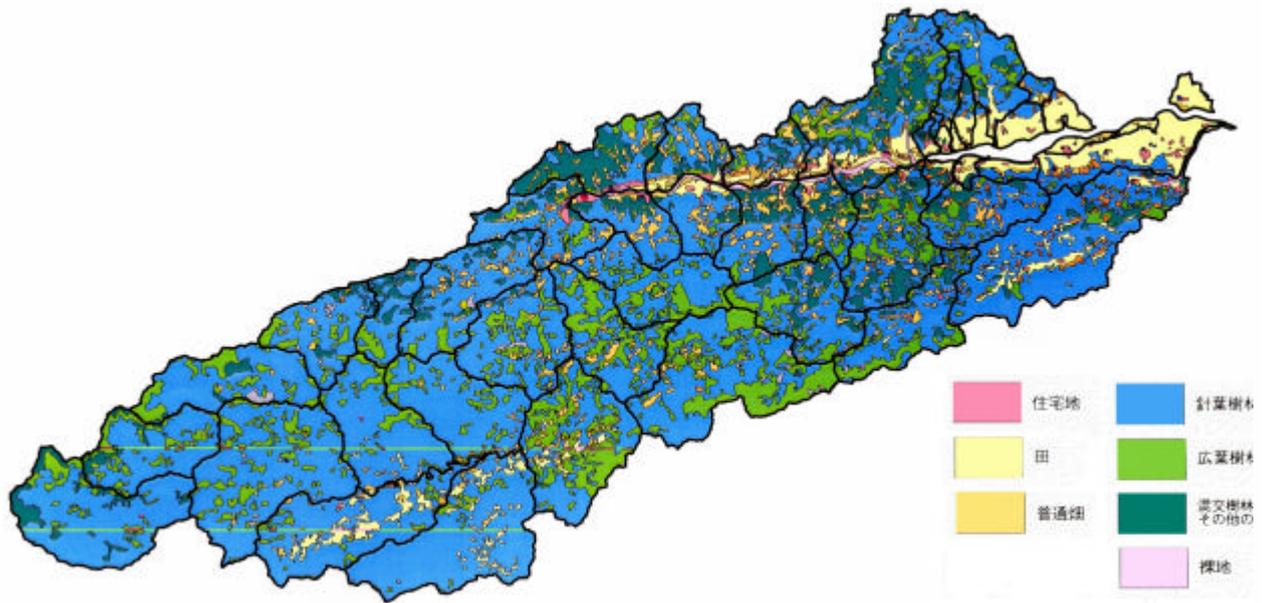
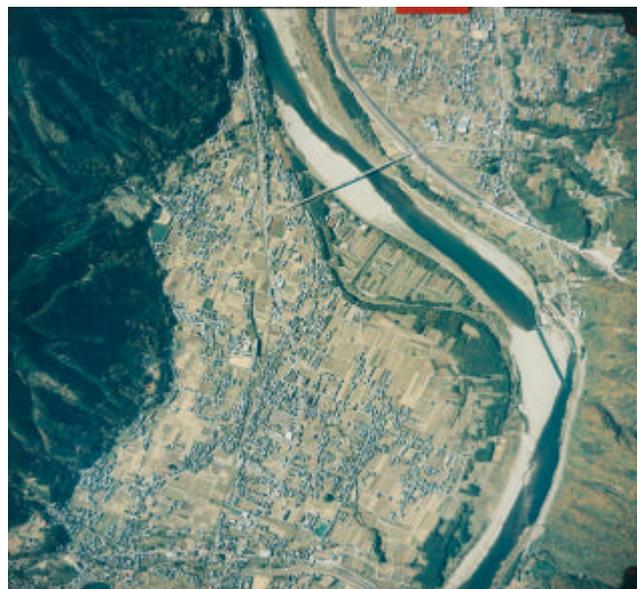


図 1 - 1 2 植生分布図

平地の土地利用は、池田～岩津まではS 3 9年とH 1 0を比較しても兩年とも水田が多く見られます。河口付近ではS 3 9年頃まで水田が多く占めていたがH 1 0年頃から、変わりに宅地等に変化しています。



昭和39年三加茂町付近



平成10年三加茂町付近



昭和39年北島町付近



平成10年北島町付近

徳島県の人口は83.2万人（H7国調）となっています。
 吉野川中流域（池田～岩津）の吉野川沿いには約10万人住んでいます。
 吉野川下流域（岩津～河口）の吉野川沿いには約51万人住んでいます。

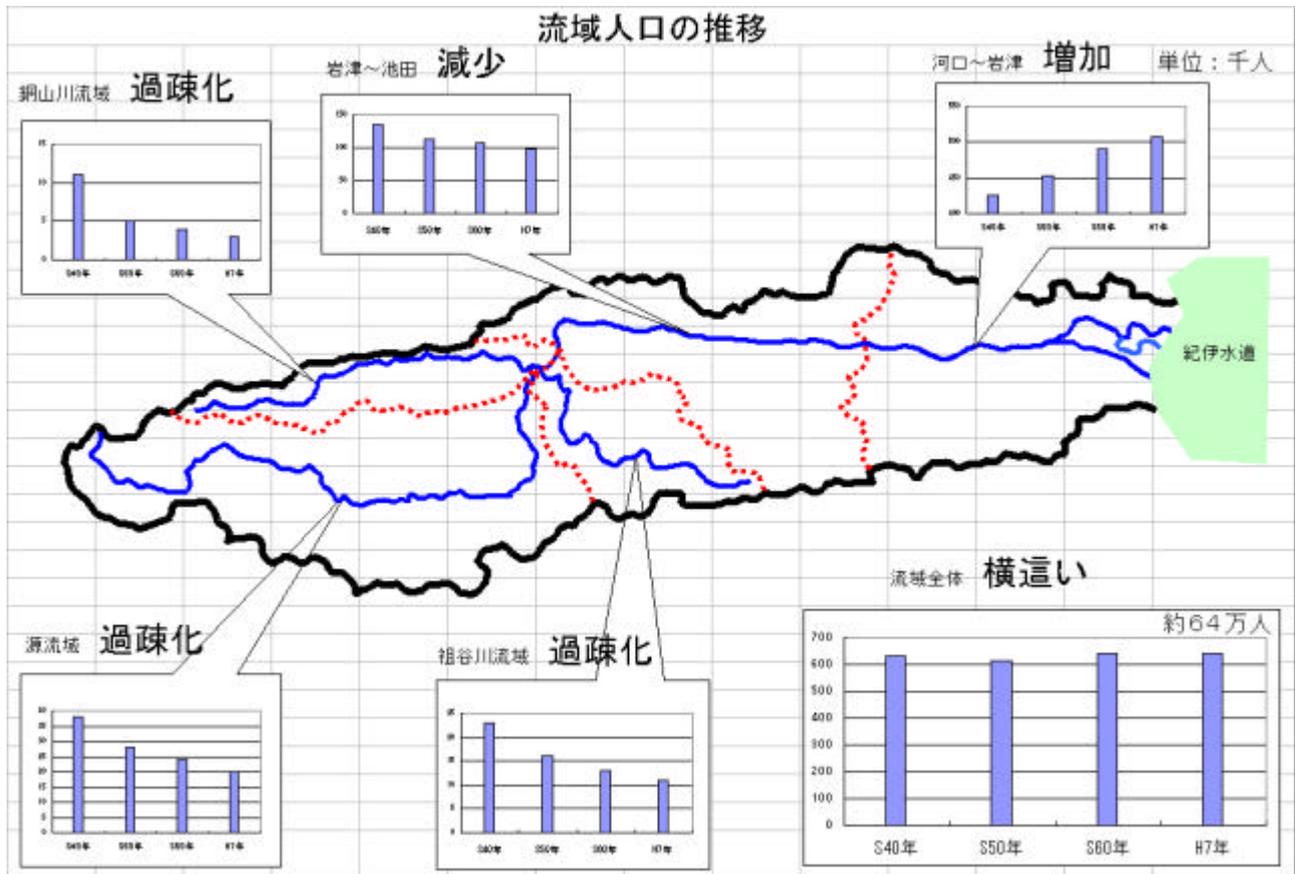


図1 - 13 徳島県の人口の変遷図

氾濫が予想される地域は、262km²あり、吉野川流域4市33町10村の人口が64.1万人
 となっています。
 そのほとんどが氾濫区域に居住しています。

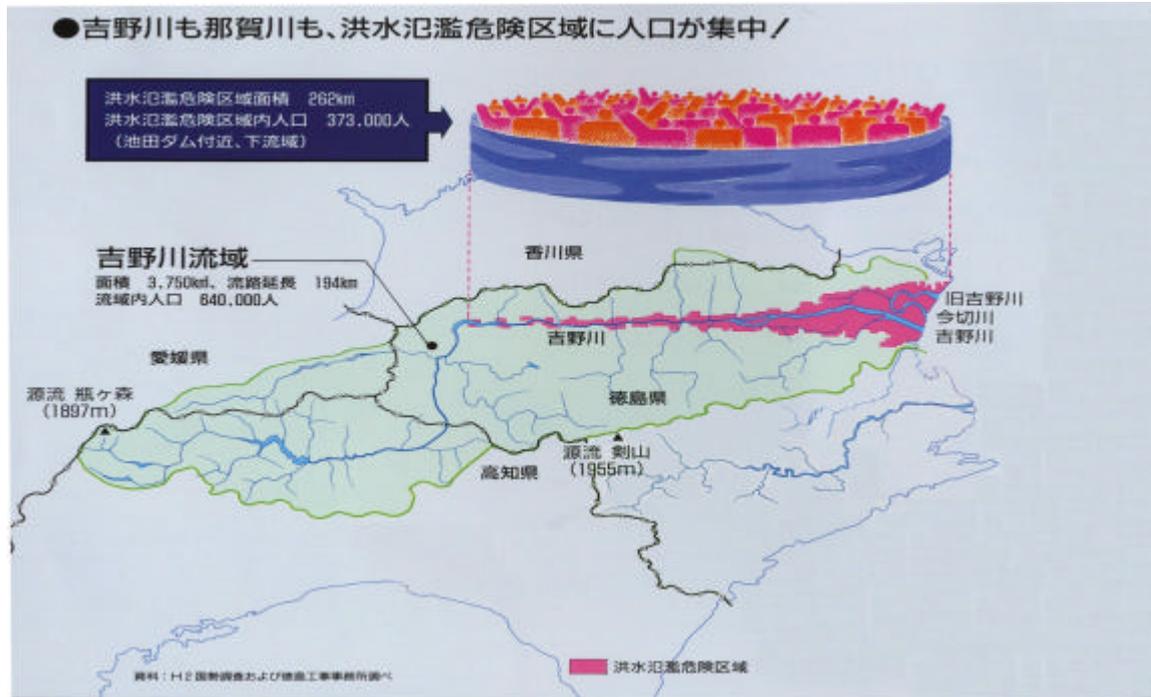


図 1 - 1 4 氾濫予想区域内人口

流域内の総生産額は6,570億円でそのうち、90%以上の6,050億円が氾濫区域内において生産され、資産も蓄積されている。

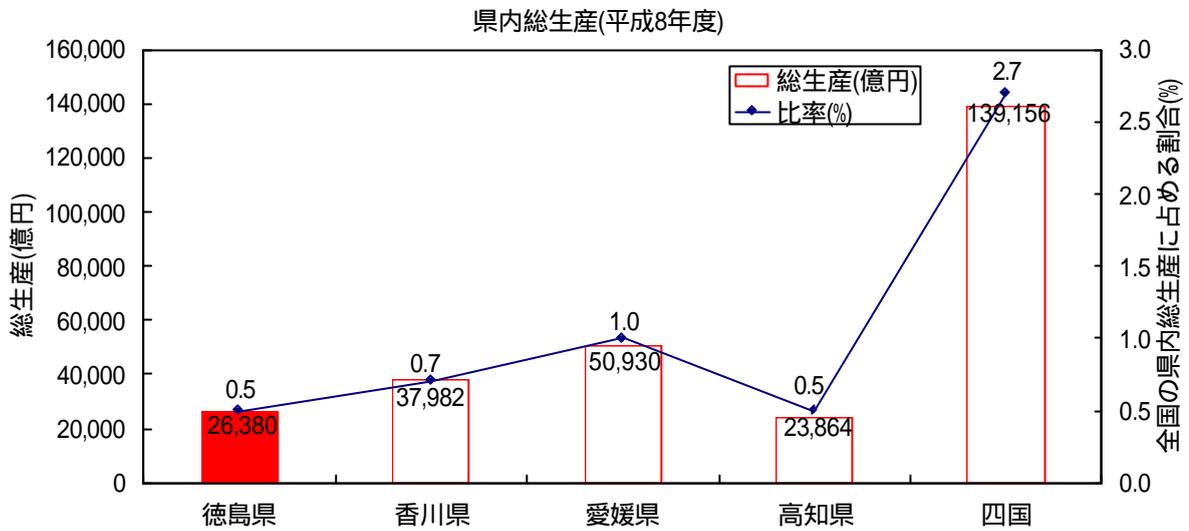


図 1 - 1 5 県内総生産額

過去10年間の水害による被害額を一人あたり年平均水害被害額で見ると、徳島県は全国の2倍以上の被害を受けています。

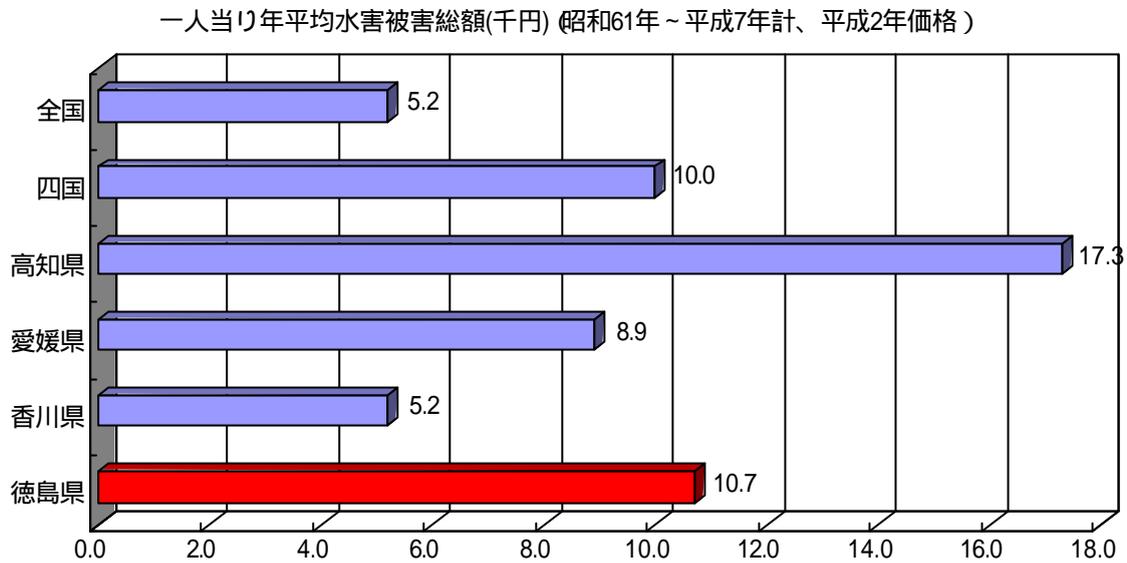


図1 - 16 一人あたりの年平均水害被害総額

堤防の整備率は、全国で51.9%、四国で48.0%、吉野川で39.6%となっています。

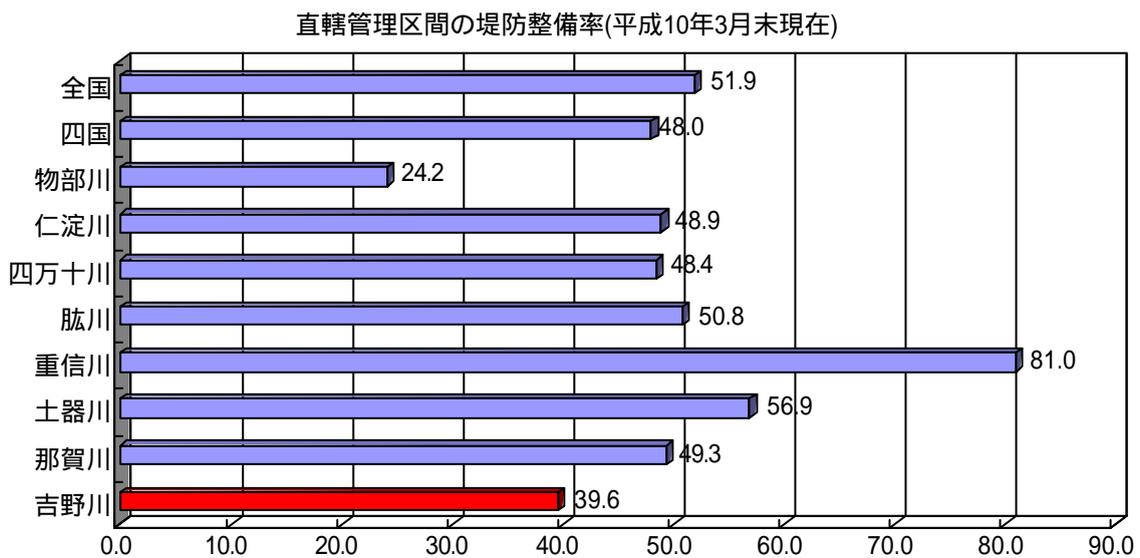


図1 - 17 堤防の整備率